

ホシザキ(6465)



－ 円高で通期の売上高を下方修正 －

ホシザキが8日に発表した上期(1-6月期)の決算は、売上高が前年同期比5.0%増収、営業利益が同16.87%増益と増収増益となりました。売上高は、国内が戦略商品の伸びなどで5.9%増、海外も円高による目減り39億円を吸収して3.1%増(現地通貨ベースでは11.9%増)となったことで1374億円とほぼ計画通りの着地となりました。

営業利益はトップラインの堅調な伸びに加えて、原価低減による粗利益率の上昇や販管費の削減などで円高によるマイナス影響6億円弱をカバーし、従来の計画の191億円を上回る209億円での着地となっています。ただ、経常利益は円高で外貨預金など保有外貨の円換算評価による為替差損約60億円を計上したことで19.3%の大幅な減益となっています。

通期の通期の営業利益は従来計画の前期比7.8%増の342億円が据え置きとなりましたが、売上高はドル円の下期の想定レートを118円から104円に見直したことで、2715億円から1.9%増の2650億円へと下方修正されました。ただ、大手フードチェーンの設備投資にやや陰りがみられるとの認識のなかで国内の売上高が引き上げられていることから計画達成がやや懸念されます。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会